

コロナが5類感染症となり3カ月各地で盆踊りや夏祭りが再開へ！

新型コロナウイルスの発生および拡大を受けて、この3年間は地域行事の中止が相次いでいました。2023年5月に感染症法上の位置づけが2類から5類へと変更されたことを受けて、数多くの地域で盆踊りや夏祭りなどの行事が再開されることとなっています。

特に、みのわ信矢の活動基盤である常盤平地区は、町会が多いエリアです。常盤平だけでも1丁目から8丁目まであり、加えて西窪町や陣屋前、柳町、双葉町、常盤平団地自治会まで数えると実に13もの町会が活動しています。そして、そのほとんどがなんらかのお祭りを運営するため、7～8月はイベントラッシュとなり、地元の方々は大忙しです。



活気が戻ってきたことは嬉しい限りですが、一方で、まだコロナの感染には注意が必要であり、さらには夏のインフルエンザも流行しています。人混みから帰ったらきちんと手洗い・うがいをし、心配ならマスクを着用するなど予防も心掛けたいものです。

松戸市役所新庁舎建設はどこに？否決された移転案に固執する当局

去る5月26日に行われた臨時議会において、市が提案した相模台地区の国有地買取議案は圧倒的多数で否決されました。市は、同地を買い取った後に市役所の移転をしたいとしていましたが、実質的に、この移転案は議会に受け入れられませんでした。

臨時議会開催前は、もしこの買取議案が否決されれば、現地に建て替えるしかないとの考えを市当局は示していました。しかし、実際に買取議案が否決されると、それでもなお相模台への移転を議会に諮りたいと言い出し、記者発表でも市長は同様の思いを述べていました。

なぜそこまで相模台への移転に固執するのか。その理由が分からないだけに、議会内には憤りや困惑が広がっています。確かに現地建て替えにも利点はあります。しかし、安全面や防災面など、確実性が高いのは現地建て替えと思われ、市は潔く議会の意向、つまりは市民の声を受け入れ、現地建て替えを進めるべきです。



HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94



みのわ信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部